

宇部市成長産業推進協議会 運営委員会 議事録

1 日時 令和7年7月28日(月) 10:00 ~ 12:00

2 場所 本庁舎3階会議室3-3、防災情報センター

3 出席者(敬称略)

<運営委員>

	所属・役職	氏 名	備 考
商工団体	宇部商工会議所 会頭	杉下 秀幸	欠 席
企 業	UBE株式会社 常務執行役員	高瀬 太	代理出席 総務・渉外部 部長 曾我 一仁
	セントラル硝子株式会社 執行役員 宇部工場長	佐藤 敬二	代理出席 技術部長 児島 敬三
	NTT 西日本株式会社 山口支店長	西 一仁	代理出席 副支店長 羽迫 喬
	株式会社ヤナギヤ 代表取締役社長	柳屋 芳雄	代理出席 監査役 藤本 哲憲
	ユーピーアール株式会社 代表取締役 社長執行役員	酒田 義矢	
大学等	国立大学法人山口大学 大学院医学系研究科長・医学部長	田邊 剛	欠 席
	国立大学法人山口大学 大学院創成科学研究科長・工学部長	山田 陽一	欠 席
	国立大学法人山口大学 大学院技術経営研究科長	稲葉 和也	欠 席
	独立行政法人国立高等専門学校機構 宇部工業高等専門学校 校長	金寺 登	
金融機関	株式会社山口銀行 執行役員 宇部支店長	大本 理恵	欠 席
	株式会社西京銀行 執行役員 宇部支店長	藤岡 義彦	
	西中国信用金庫 宇部支店長	片岡 謙蔵	欠 席
支援機関	地方独立行政法人 山口県産業技術センター 理事長	小関 浩幸	
	公益財団法人 やまぐち産業振興財団 副理事長	福田 浩治	代理出席 常務理事兼事務局長 高田 政夫
自治体	山口県産業労働部長	永田 明生	
	宇部市長	会長 篠崎 圭二	

<関係者>

ノイルイミュン・バイオテック株式会社 取締役 渡嘉敷 努

<事務局>

産業経済部 部長 林 孝之、次長 村岡 和弘

成長産業創出課 課長 中角 直人、副課長 川本 満隆、係長 清永 浩幸、主任 山根 朋巳

4 内容

(1) 会長挨拶

(2) 成長産業の創出・育成に向けた取組報告について

別紙、資料3により事務局が内容説明。

— 説明に対する質疑 —

(3) 事業プロジェクト紹介

ノイルイミュン・バイオテック株式会社 取締役 渡嘉敷 努氏が事業内容を紹介。

— 説明に対する質疑 —

(4) 意見交換

【運営委員の主な発言概要】

- ・ノイルイミュン・バイオテック株式会社（以下、ノイル社）の市場におけるポジショニングとアピールポイントについて。
→ CAR-T細胞自体を強力にするだけでなく、「CAR-Tの周りの環境を変える」という思想が強み。固形がんの組織に対し、CAR-Tが単独で挑むのではなく、CAR-Tを起点として患者自身の免疫細胞を癌の周囲に呼び込み、「援軍を呼び込む」という技術。これは業界でも注目されている腫瘍微小環境を変えるアプローチに合致している。日本においてはCAR-T分野のリーディングカンパニーであり、日本の再生医療推進の追い風を受けて開発を進め、世界的に見ても特徴的な立ち位置にある。（ノイル社）
- ・セントラル硝子では、昨年補助金を受けた「凍結保存繊維芽細胞シート」のプロジェクトは順調に進捗している。補助金名に「実用化」とあるため、研究だけでなく事業化を強く意識して取り組んでいる。
- ・宇部市の細やかな支援体制は素晴らしいが、中小企業への周知が課題。タイムリーな情報提供が必要と感じる。
- ・若者企業家チャレンジ補助金（補助率9/10）は非常に良い取組である。提案として、この補助金の対象を「若者」に限定せず、中高年やリタイア世代の起業家も対象に加えてはどうか。経験豊富な層の方が成功率が高い可能性があり、宇部市の大学や大企業の強みを生かした融合が期待できる。
- ・宇部高専では、昨年、3Dプリンター等の設備を整備し、学生がすぐに起業できる環境を整えた。文科省の「成長分野を牽引する大学・高専機能強化支援事業」に採択され、DX・GX推進に取り組んでいる。
- ・企業アンケートの結果、既存分野の維持とDX人材育成のニーズが高いことが判明。来年度から電気工学科を「電気システム工学科」に改組し、電気技術と情報技術の両方を学べる人材を育成。機械工学科と物質工学科にもDX関連コースを設け、5年後には全ての卒業生がDX人材として通用することを目指す。
- ・宇部高専では、来年9月頃には情報教育棟が完成し、地域の情報教育拠点として活用してほしい。

- ・新設される成長産業ファンドサポート事業について、認定金融機関の認定基準や、市の補助金支援実績が金融機関の審査に影響するかどうか。
→ 認定金融機関は、市内に拠点を持つ金融機関と、それらが組成するファンドやベンチャーキャピタルが対象。市の過去の補助金支援実績は、金融機関の出資条件とはしない。市としては、過去に支援した企業が対象になることを期待しているが、出資判断は金融機関に委ねる。（事務局）
- ・産業技術センターでは、プロジェクトの組成、共同研究資金獲得、コーディネートを行っているので、ぜひ相談してほしい。
- ・山口大学と宇部市の取組は非常に進んでおり感心した。ノイル社の事業も専門的だが、非常に期待が持てる。
- ・やまぐち産業振興財団も人材確保・育成、DX・GX 推進、創業補助金など伴走型の支援を行っており、販路開拓や知財活用支援も提供。宇部市との連携を期待。
- ・宇部市が県の施策と連携し、市内の企業が活用して着実な成果を出していることを評価。
- ・ノイル社は県の補助金に採択され、高い評価を得た。実用化と広域連携拠点の形成に期待。
- ・山口県は人口減少が進む中、産業力が活力の源泉であり、宇部市がその中心として取り組んでいることに感謝。山口県も引き続き支援していく。

【宇部市長】

- ・委員からの貴重な意見に感謝。
- ・周知の課題について、特に首都圏や福岡の投資家、スタートアップに情報が届いていないことを認識。情報交換の場があれば、積極的に参加したい。
- ・令和7年度における成長産業の創出・育成の取組の方向性について、委員の承認を求める。
→ 委員一同：承認。
- ・承認に感謝し、引き続き産学公金連携連携で取組を進めていく。

【配付資料】

- ・運営委員会委員名簿
- ・配席図
- ・成長産業の創出・育成に向けた取組報告

資料 1

資料 2

資料 3